公益財団法人タカタ財団　２０２４年度事業報告書

（２０２４年6月１日～２０２５年5月３１日）

２０２４年5月１３日の臨時評議員会において承認された２０２４年度事業計画及び予算に基づいて実行してきた事業活動について、以下報告する。

Ⅰ．役員に関する事項

１．評議員（２０２４年８月５日以降現在）

役　職	氏　名	現　職
評議員長	近森　順	公益社団法人自動車技術会　名誉会員
評議員	石川　博敏	認定 NPO 法人救急ヘリ病院ネットワーク（HEM-Net） 理事
評議員	福田　守利	SJD 法学博士・国際経営カウンセラー・アメリカ法学者 神田外語大学　名誉教授 台湾天主教輔仁大学　特任教授
評議員	宮嵜　拓郎	公益財団法人国際交通安全学会　理事 一般社団法人ドライブレコーダ協議会　監事
評議員	村井　勝	慶應義塾大学　名誉教授

２．役員（理事）（２０２４年８月５日以降現在）

役　職	氏　名	現　職
代表理事	高田　暁子	財団統括
業務執行理事	薩摩　一彦	財団運営業務・広報事業・教育助成事業補佐
理事	古谷　知之	慶應義塾大学総合政策学部　教授 教育助成事業担当

３．役員（監事）（２０２４年８月５日以降現在）

役職	氏名	現職
監事	尾澤　輝行	尾澤会計事務所会長
監事	佐藤　正典	公認会計士

Ⅱ．理事会の開催

1.　２０２４年７月６日（木）、理事３名及び監事１名の出席を得て定足数を満たしたので、高田理事長は決算理事会の開催を宣言し、薩摩業務執行理事に議長を委任

して会議を開始した。

会議の目的事項

【報告事項】

（１） 代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第９１条第２項並びに定款第２８条第４項の規程に基づき、代表理事（高田理事長）から財団事業の継続ついて、業務執行理事（薩摩理事）は目的事業の展開等について適切に業務を執行している旨、報告があった。

（２）２０２４年８月定時評議員会の開催日時について

議長は、令和６年５月１３日（月）開催の臨時評議員会において２０２４年８月定時評議員会の開催日時が理事会から提案した８月５日（月）１４時からに全員一致で決議された旨の報告をした。

【決議事項】

第１号議案　２０２３年度(2023/6/1-2024/5/31)事業報告書（案）の件

議長は、２０２３年度（第１５期）事業報告書（案）の説明を各担当理事に求めた。事業全般の活動及び理事会、評議員会の開催及び助成事業について薩摩理事、寄付講座助成事業について古谷理事、タカタライブラリー事業及び広報事業について薩摩理事より説明があった。

各理事からの説明の後、その承認を議場に諮り満場一致で決議した。

事業報告書の詳細は会議資料の通りである。

第２号議案　２０２３年度（2023/6/1-2024/5/31）決算計算書類（案）及び
財産目録等の承認と監査報告書の件

議長は、２０２３年度（第１５期）決算計算書類（案）及び財産目録等の説明を担当者に求めた。担当者は、貸借対照表から正味財産増減計算書、財務諸表の注記、付属明細書、財産目録の説明を行った。当期は１月にプロバイダーのサーバーの経年対応のための費用が１５０万円発生したため、受取寄附金を１００万円追加入金した。そのため経常収益の受取寄附金は１，０００万円となり予算額より１００万円多くなった。

担当者からの説明のあと、決算計算書類の承認を議場に諮ったところ、満場一致で決議した。

決算計算書類等の詳細は会議資料の通りである。

第３号議案　任期満了に伴う評議員及び役員の改選について

議長は、２０２４年８月の定時評議員会の終了の時をもって評議員５名及び役員（理事４名、監事２名）が任期満了となるため、現職の評議員及び役員をここに提示すると共に、理事４名及び監事２名の重任を評議員会に推薦するものとした。

本議案を議場に諮り審議したところ、満場一致で承認された。

・現職の評議員５名の氏名は下記の通りである。（敬称略）

近森　順、石川博敏、宮崎拓郎、福田守利、村井勝

・現職の理事４名の氏名は下記の通りである。

高田　暁子、薩摩一彦、古谷知之、西田俊章

・現職の監事の氏名は下記の通りである。

尾澤輝行、佐藤正典

以上をもって本理事会の議案のすべてを終了したので、議長は閉会を宣言した。

２．２０２５年４月１５日（火）理事会

理事３名、監事２名の出席により定足数を満たしたので、高田理事長は理事会の開催を宣言し、薩摩業務執行理事に議長を委任して議事を進行した。

会議の目的事項

【報告事項】

（１）代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第９１条第２項並びに定款第２８条の規定に基づき、代表理事（高田理事長）及び業務執行理事（薩摩理事）から、期中の職務執行状況について、適切に遂行している旨の報告がされた。

（２） 令和７年２月７日公益認定等委員会事務局との打ち合わせの報告

タカタ財団は、公益認定等委員会事務局より平成６年度の事業計画に関して質問を受けた。

本件について、高田理事長及び薩摩業務執行理事が公益認定等委員会事務局にこれまでの実績について資料をもって説明し、今後の進め方について相談した。

詳細は別途添付の「打ち合わせ議事録」のとおりである。

【決議事項】

第１号議案　２０２５年度事業計画書（案）の件

議長は、２０２５年度(2025/06/01~2026/05/31)事業計画（案）について、「２０２５年度事業計画書（案)」に沿って、説明を行った。

計画の主な内容は、

・「２０２５年度研究助成事業（2025/4/-2026/3 研究費)」は諸事情を鑑み、休止を継続する。

・道路交通安全に関わる「寄附講座」は、2024 年度（2024/10-2025/01）の実施を以って休止とし、２０２５年度の事業はタカタライブラリーのみとする。

説明の後、承認を議場に諮り、満場一致で決議した。

第２号議案　２０２５年度収支予算書（案）の件

議長は、２０２５年度（(2025/06/01~2026/05/31）収支予算（案）の説明を担当者に求め,担当者は２０２５年度収支予算書（案）に沿って説明を行った。

事業費は、寄付講座助成費用費が無くなり、ライブラリー運営費として IT 関係費に５５万円を計上している。

また事業の縮小に伴い、作業場所としての事務所家賃を月額７万円に減額した。

その他経年による性能の劣化及びシステムサポート終了により PC 買い替え費用の計上２０万円、事業の休止に伴う作業の見直しと人件費削減などをした。

結果、年間予算額を５００万円として予算書を作成し、その決議を議場に諮り、満場一致で決議した。

それらの修正を反映した「収支予算書（案)」を添付する。

第３号議案　５月の臨時評議員会及び７月・８月会議の開催日について

議長は、各会議の開催日を議場に諮り、今後の会議においては書面決議の開催も含めて検討するものとして、ここに開催日は明記しない。

以上をもって、本理事会の議案の全てを終了したので、議長は閉会を宣言した。

Ⅲ. 評議員会の開催

１．２０２４年８月５日定時評議員会

評議員５名、役員３名、監事２名の通り定足数に達したので、定款第２２条の規定に従い、近森評議員長が議長となり、開会を宣言した。

会議の目的事項

［報告事項］

（1）２０２３年度（第１５期）事業報告の件

議長は第１５期(2023/6/1-2024/5/31)の事業報告の説明を求めた。薩摩業務執行理事は資料の［２０２３年度事業報告書］に基づいて理事会・評議員会の開催履歴等当財団の活動全般から研究助成事業の２０２２年度助成研究報告会の開催、交通安全公的文献ライブラリー（タカタライブラリー）の構築継続及び広報事業と事業全般について、古谷理事が寄付講座助成事業の慶應義塾大学寄附講座の実績等について説明・報告を行った。

［決議事項］

第１号議案　２０２３年度(第１５期)決算計算書類等、財産目録等の承認及び監査結果報告の件

議場において承認・報告を受けた決算計算書類は以下のとおりである。

・決算計算書類等

（１）貸借対照表

（２）正味財産増減計算書等

（３）財産目録

（４）その他附属明細

・監事の監査報告書

第２号議案　任期満了に伴う評議員５名選任の件

議長は、本評議員会の終了の時をもって現職の評議員全員が任期満了を迎えることを報告し、一人ずつ選任の決議を求めた。
出席評議員は全員一致で選任可決した。
候補者の選任結果は以下のとおりである。

評議員	：	近森　順	重任
		石川　博敏	重任
		宮崎　拓郎	重任
		村井　勝	重任
		福田　守利	重任

重任の評議員は、全員その就任を承諾した。

第３号議案　任期満了に伴う理事３名選任の件

議長は、本評議員会の終了の時をもって現職の理事全員が任期満了を迎えることを報告した。議長はこの案を議場に諮り一人ずつ選任の決議を行い、全員一致で選任可決した。

本評議員会において退任・選任された役員は以下のとおりである。

理事　：　高田　曉子　　重任
　　薩摩　一彦　　重任
　　古谷　知之　　重任
　　西田　俊章　　退任

重任の理事は全員その就任を承諾した。

第４号議案　任期満了に伴う監事２名選任の件

議長は、本評議員会の終了の時をもって現職の監事全員が任期満了を迎えることを報告した。

議長はこの案を議場に諮り一人ずつ選任の決議を行い、全員一致で選任可決した。

本評議員会において退任・選任された役員は以下のとおりである。

監事　：　尾澤　輝行　重任
　　佐藤　正典　　重任

以上をもって本評議員会の議案のすべてを終了したので、閉会を宣した。

２．２０２５年５月臨時評議員会について（書面決議）

公益財団法人タカタ財団は、２０２５年５月に書面決議による臨時評議員会を実施した。

記

［報告事項］

①　２月７日（金）公益認定等委員会事務局との打ち合わせの報告

・公益認定等委員会事務局との打ち合わせの議事録の通りである。

［決議事項］

１．評議員会の決議があったものとみなされた事項

第１号議案　２０２５年度(2025/6/1-2026/5/31)事業計画書の件

評議員会資料［２０２５年度事業計画書（案)］の通り

第２号議案　２０２５年度(2025/6/1-2026/5/31)収支予算書の件

評議員会資料「２０２５年度収支予算書（案)」の通り

２．１．の事項を提案した者の氏名

代表理事　高田　曉子

３．評議員会の決議があったものとみなされた日

令和７年５月１５日

４．議事録の作成に関わる職務を行った者の氏名

代表理事：高田　暁子

５．評議員会の構成員（全５名）

評議員長　近森　順

評議員　　石川博敏、福田守利、宮崎拓郎、村井勝

令和７年５月１５日、代表理事が評議員に対して評議員会の目的である事項についての提案を行い、当該提案について、評議員全員からの書面による同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第１９４条の規定に基づき、決議事項を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

Ⅳ．２０２４年度に実施した事業について

１．寄附講座助成事業

２０２４年１０月１日から２０２５年１月２１日の秋学期に開講した慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部（湘南藤沢キャンパス）共通講座「交通安全文化論」に対して助成を行った。

・助成金額：３，５００，０００円

（１） 本年度の履修生数・内訳

	１年生	２年生	３年生	４年生	小計	合計
総合政策学部	１４	３７	３１	１９	１０１	１８６
環境情報学部	５	３３	３６	１１	８５	

（参考：２０１１年開講以降の総履修生数：３，６８４名）

（２）全 14 回の講義内容

回	年月日	講義名	講師	所属・役職
第１回	2024 年 10 月１日	ガイダンス	古谷　知之氏	慶應義塾大学総合政策学部 教授
第２回	10 月８日	自動車基準の国際基準調和活動	高瀬　竜司氏	国土交通省物流・自動車局 車両基準・国際課 国際企画室長
第３回	10 月 15 日	交通事故死者削減のための課題と新技術	高橋　信彦氏	（一社）日本自動車工業会 安全技術・政策委員会 車両安全部会長

				日産自動車株式会社 認証法規部　技監
第 4 回	10 月 22 日	交通形成者育成のための教育	大谷　亮氏	（一財）日本自動車研究所 自動走行研究部自動走行標準グループ
第 5 回	10 月 29 日	自動車事故を防ぐ 自動車事故から守る 被害者を支える	堀納　隆成氏	独立行政法人 自動車事故対策機構 審議役
第 6 回	11 月 5 日	レースの世界からみた交通安全	佐藤　琢磨氏	レーシングドライバー
第 7 回	11 月 12 日	Mobility as a Service	水田　哲夫氏	国土交通省総合政策局 モビリティサービス推進課
第 8 回	12 月 3 日	超小型モビリティの世界	小畑　正好氏	（一社）日本自動車文化振興会　理事長
第 9 回	12 月 10 日	安全な交通社会の実現に向けて	松井　靖浩氏	（独法）自動車技術総合機構　交通安全環境研究所 上席研究員
第 10 回	12 月 17 日	交通事故死者ゼロに向けて ―自動車業界の安全への 取り組み―	葛巻　清吾氏	サムズオフィス代表取締役 （元トヨタ　先進自動車 カンパニー フェロー）
第 11 回	12 月 24 日	自動運転の実現に向けた警察庁の取組みについて	成富　則宏氏	警察庁交通局交通企画課 自動運転企画室長
第 12 回	2025 年 1 月 7 日	2 輪自動車の安全	黒木　一義氏	本田技研工業株式会社 経営企画統括部安全企画部 安全戦略推進課 チーフエンジニア
第 13 回	1 月 14 日	四肢の交通事故外傷に対する整形外科学的対応	佐藤　和毅氏	慶應義塾大学病院 スポーツ医学総合センター 教授
第 14 回	1 月 21 日	交通安全文化とはなにか	小管　英恵氏	公益財団法人 交通事故総合分析センター 研究部　主任研究員

各講師には大学側から講義内容に関わる課題を履修生に出すことが求められており、履修生のレポートは各講師にフィードバックされていることが報告された。
この履修生レポートはタカタ財団事務局にも参考送付されている。

２．交通安全公的文献ライブラリー（タカタライブラリー）の構築継続

道路交通安全に関わる日本国内官公庁・委員会等の公的文献のデータベース事業として「タカタライブラリー」の構築を継続し、新たに国内関係４３件＋国際連合世界保健機構” Global Status Report on Road Safety 2023”を追加し総計４９３件となった。

２０２４年度公的文献ライブラリー掲載一覧

No.	主　管	会議体名・会議体資料名	会議開催日
1	国土交通省自動車局 技術政策課 （ASV 推進検討会）	第 5 期(2010-2015)ASV（先進安全自動車）推進計画	平成 23 年
2	同上	第 5 期（2010-2015）ASV 推進計画 活動報告書―本編	平成 28 年 5 月
3	同上	第 5 期（2010-2015）ASV 推進計画 活動報告書―資料編	平成 28 年 5 月
4	同上	第 5 期（2010-2015）ASV 推進計画 成果報告会	平成 28 年 5 月 20 日
5	同上	第 6 期（2016-2020）ASV 推進計画	平成 28 年 11 月
6	同上	第 6 期 ASV(2016-2020)推進計画 活動報告―本編	令和 3 年 5 月
7	度	第 6 期 ASV(2016-2020)推進計画 活動報告―資料編	令和 3 年 5 月
8	同	第 6 期 ASV(2016-2020)推進計画 活動概要	令和 3 年 5 月同上
9	国土交通省物流・自動車局技術・環境政策課	令和６年度第１回車両安全対策検討会	令和 6 年 6 月 26 日
10	同上	令和 6 年度第 2 回車両安全対策検討会	令和 6 年 11 月 7 日
11	同上	令和 6 年度第 3 回車両安全対策検討会	令和 7 年 3 月 14 日
12	国土交通省都市局 街路交通施設課	令和６年度第１回自動運転インフラ検討会	令和 6 年 6 月 27 日
13	同上	令和６年度第２回自動運転インフラ検討会	令和 6 年 10 月 9 日
14	国土交通省物流・自動車局　企画・電動化・自動運転参事官室	令和 6 年度第 1 回都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会	令和 6 年 10 月 7 日
15	同上	令和 6 年度第 2 回都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会	令和 6 年 12 月 16 日

16	同上	令和 6 年度第 3 回都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会	令和 7 年 2 月 17 日
17	国土交通省物流・自動車局　企画・電動化・自動運転参事官室	交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会 令和 6 年度第 1 回自動運転ワーキンググループ	令和 6 年 10 月 7 日
18	同上	交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会 令和 6 年度第 2 回自動運転ワーキンググループ	令和 6 年 12 月 4 日
19	同上	交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会 令和 6 年度第 3 回自動運転ワーキンググループ	令和 7 年 2 月 5 日
20	同上	交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会 令和 6 年度第 4 回自動運転ワーキンググループ	令和 7 年 3 月 17 日
21	同上	交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会 令和 6 年度第 5 回自動運転ワーキンググループ	令和 7 年 3 月 19 日
22	国土交通省物流・自動車局安全政策課	交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会 令和 6 年度「事業用自動車に係る総合的安全対策検討委員会」	令和 7 年 3 月 14 日
23	国土交通省物流・自動車局企画・電動化・自動運転参事官室（旅客課）	第 1 回交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会自動車部会 日本版ライドシェア参画の在り方に関する検討会	令和 6 年 2 月 7 日
24	同上	第 2 回交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会自動車部会 日本版ライドシェア参画の在り方に関する検討会	令和 6 年 2 月 28 日
25	同上	第 3 回交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会自動車部会 日本版ライドシェア参画の在り方に関する検討会	令和 6 年 3 月 13 日

26	同上	第 4 回交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会自動車部会 日本版ライドシェア参画の在り方に関する検討会	令和 6 年 4 月 9 日
27	同上	第 5 回交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会自動車部会 日本版ライドシェア参画の在り方に関する検討会	令和 6 年 5 月 8 日
28	同上	第 6 回交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会自動車部会 日本版ライドシェア参画の在り方に関する検討会	令和 6 年 5 月 15 日
29	同上	第 7 回交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会自動車部会 日本版ライドシェア参画の在り方に関する検討会	令和 6 年 8 月 27 日
30	同上	第 8 回交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会自動車部会 日本版ライドシェア参画の在り方に関する検討会	令和 6 年 10 月 29 日
31	同上	第 9 回交通政策審議会陸上交通分科会 自動車部会自動車部会 日本版ライドシェア参画の在り方に関する検討会	令和 6 年 12 月 2 日
32	同上	バス・鉄道事業による日本版 ライドシェアへの参画の在り方に関する論点整理	令和 6 年 12 月 30 日
33	同上	第 10 回交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会自動車部会 日本版ライドシェア参画の在り方に関する検討会	令和 7 年 4 月 3 日
34	独立行政法人 自動車事故対策機構	令和 5 年度第 3 回自動車アセスメント評価検討会	令和 6 年 3 月 25 日
35	同上	令和 6 年度第 1 回自動車アセスメント評価検討会	令和 6 年 6 月 24 日
36	同上	令和 6 年度第 2 回自動車アセスメント評価検討会	令和 6 年 12 月 12 日

37	警察庁交通局 交通企画課	歩道走行型ロボットの公道実証実験に係る道路使用許可基準	令和 5 年 4 月
38	同上	自動運転の公道実証実験に係る道路使用許可基	準令和 6 年 9 月
39	同上	令和 6 年度第 1 回自動運転の拡大に向けた調査検討委員会	令和 6 年 8 月 29 日
40	同上	令和 6 年度第 2 回自動運転の拡大に向けた調査検討委員会	令和 6 年 10 月 29 日
41	同上	令和 6 年度第 3 回自動運転の拡大に向けた調査検討委員会	令和 6 年 12 月 19 日
42	同上	令和 6 年度第 4 回自動運転の拡大に向けた調査検討委員会	令和 7 年 1 月 30 日
43	同上	令和 6 年度自動運転の拡大に向けた調査研究報告書	令和 7 年 3 月
44	世界保健機構	Global Status Report on Road Safety 2023	2023 年

３．広報事業

（１）ホームページのコンテンツ随時更新

① 事業計画書、収支予算書、事業報告書、決算計算書の公開

②２０２５年度研究助成の公募休止の公開

③ ２０２５年度寄附講座を希望する大学公募休止の公開

④ 佐野彰一氏（元東京電機大学教授）寄稿「交通安全コラム」の掲載

２０２４年6月１日（第３０６回）～２０２５年5月３１日（第３３０回)。

２０１４年9月１５日にスタートした佐野彰一氏のコラム掲載は、今年度３３０回の寄稿を以って終了した。

（２） 東京大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）センターへの情報登録

東京大学医学部付属病院に設置されている医療・保健・科学技術・福祉の研究者及び関係者向け助成情報掲載サービス（FIND=Fund Information Database）に、今年度のタカタ財団の研究助成公募及び教育助成公募の休止を掲載した。

（３） 国立国会図書館の論文登録について

国立国会図書館に「International Standard Serial Number（ISSN2185-8950)」の番号で登録されているタカタ財団の助成研究論文は、タカタ財団の助成研究論文サイトにリンクが貼られているのみで、ＰＤＦ形式による論文の保存は行われていない。

２０２４年１月、東京国会図書館にＰＤＦによる保存の可能性について相談したところ、京都国会図書館では行っているかもしれないとの情報を得て京都国会図書館に相

談した結果、収集に値する研究論文との評価をいただき、ＰＤＦによる論文保存作業を行ってもらえることとなった。但し、工数の関係から１年くらいはかかりそうとの回答であった。

２０２５年１月、京都国会図書館に本件の進捗状況を確認したところ、論文収集作業は完了したことの回答を得た。

今後は、国立国会図書館の施設内(東京本館、関西館、国際子ども図書館)で研究助成論文の閲覧が可能である。

https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R100000039-I13307305#volume

（４） 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）からの著書抄録許諾（再許諾）について

２０２４年８月、JST より同機構が収集・整備している文献データについて、社会が必要とされるデータベースの利用方法を再定義して拡大できるよう、データベースに登録している論文について著者抄録の再許諾要請があり、許諾の回答を提出した。

（５）リーフレットの随時改定

従前のリーフレット内容に変更はなし（所在地地図に若干の変更あり。）

以　上